

社会福祉士対策講座を見学して、受講生一人一人が真剣に、授業に取り組んでいたことが印象的です。受講生が真剣に学びたいという意欲が湧くのは、真剣に取り組みたいと思える授業内容と環境があるからであると感じました。社会福祉士国家試験の過去問題を用いて、「相談援助の基盤と専門職」の分野を学習する授業内容でしたが、教員が一方的に説明するのではなく、受講生が「音読する」「書く」「考える」「覚える」の一連を授業の中で行い、授業の主役となって学びを深めていく授業スタイルが、受講生の学ぶ意欲を高め、高い学習効果に繋がっていると感じました。また、教員は大切なポイントをわかりやすい言葉で説明しながら、「ここは大切だから線を引いて」「選択肢のこの内容は○○のことだからこう書き加えて」と受講生がスムーズに学習を進められるように促していました。授業の最後に確認テストが行われ、実際に受講生が皆満点を取っており、自身も満点を取ることができました。

嬉しくて達成感を感じました。受講生も同じ気持ちで「次もまた頑張って満点を取ろう」と意欲をもって取り組もうとしていると思います。授業見学を通して、国家試験に向けて無理なく学習を進めることができ、学習して身に付いたことがすぐに目に見えて、達成感を得られる授業は、とても素晴らしい授業であると感じました。

中島恒雄総長先生が「コツコツやって必ず受かる」「絶対に合格するんだ」と授業の中で

おっしゃっていました。そのお言葉に、受講生は励まされ、国家試験合格に向けて頑張ろうという気持ちがより強くなったと思います。

「できなかった子（生徒）をできる子（学生）にするのが教育」であり、「学生を幸せにする」という中島恒雄総長先生のお言葉を実感しました。学生が意欲的に取り組むことができるように、常に支援の在り方を考え、努力していく所存です。

貴重な授業を見学させていただきまして、誠にありがとうございました。